



6月 あひるぐみだより

園の畑や家の軒先など至るところで色鮮やかなアジサイがもうしっかり咲いています。散歩にでかけると「ピンクの花かわいいね」「こっちは白だ」とカラフルなアジサイに目うつろいし、その度立ち止まってかわいいアジサイを見ている。雨が降ったり日差しが強くなったり、天気の変り変わりが多く、蒸し暑い日が続きますので、着替えや水分補給をしながら夏の暑さに身体を慣れさせていきたいです。



雨上がりの園庭…水たまりがたくさんできました。保育者が裸足のまま園庭にでかけ「つめたい〜」「きもちいい〜」と嬉しそうにすると、子どもたちも負けてはいられないとばかりに裸足でかけだしました。初めはおそるおそる水たまりに入っていた子ども、最後には水たまりの中でジャンプを繰り返し、水しぶきを飛ばしていました。



汚れるのが苦手なSさんだって水で遊びたい気持ちはあります。みんなの近くにいるだけで汚れそう・・・そんなSさんをみつけたKさんが、Sさんの持っていたペットボトルに水を入れてくれました。それ

がきっかけで二人はお互いに水をすくって入れ合いっこ。少しずつ汚れることにも抵抗がなくなってきたようです。隣で雨どいから水が流れていることに気が付き、二人はそこで水を入れようと雨どいへペットボトルをかざしました。ペットボトルから手を離れた瞬間、水流によってペットボトルは流れて行ってしまいました。雨どいの水が入るという予想とは反するペットボトルの動きに二人はあっけにとられていました。



どろんこあそびを楽しもう！！

雨が多くなる梅雨の時期。雨上がりにはぬかるんだ砂場や園庭の水たまりで、思い切りどろんこを楽しむ機会が増えてきます。大人は「洗濯物が大変だから…」と感じてしまいが、泥あそびには子どもたちにとってよい効果があると言われています。



① 心身ともに開放的になる

水や砂、泥は子どもの身も心も開放してくれる遊びのツールです。夢中になると自然と笑い声があふれます。

② 創造力や集中力を伸ばす

土・泥は、水を加えたり減らしたりするだけで硬さや感触がいろいろ変化します。子どもたちはそれを崩したり、作ったりを繰り返して、「次はどんな形にしよう」「どれくらい水を加えたらどうなるのだろう」と工夫し新しいものをつくりだします。また、夢中になって遊ぶことで集中力も育まれます。

③ 五感を刺激する

視覚、味覚、触覚、嗅覚の五感が発達して感性が磨かれます。



「汚すのはダメ」「気持ちわるい」と泥あそびが苦手な子もいます。少しずつ慣れていくと、笑顔が増え、夢中になり、汚れを気にしないようになってきます。

苦手な子は無理強いせず、水や粘土、紙など形が変化するものから楽しんでもみるのもいいかもしれません。